

(別紙3)

平成29年度 指定管理業務事業評価書

担当課 社会福祉課

1 指定管理者

指定管理施設名	吉野川市鴨島老人福祉センター
指定管理者名	株式会社 松島組
指定期間	平成27年4月1日から平成30年3月31日まで
業務の範囲	鴨島老人福祉センターの維持管理運営業務、使用許可に関する業務、利用料金の徴収に関する業務

2 利用者数等の状況

項目(利用人数、催し物参加者数等、苦情件数等)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
利用者数	16,595人	15,511人	14,886人	15,163人
苦情・要望等件数	3件	2件	3件	2件

3 施設の利用状況・サービスの提供

評価項目	執行状況及び自己評価(指定管理者記載)
施設等の利用許可(貸館)に関する業務	センターの設置目的に沿っているかを確認した上で、使用の許可をしている。利用団体・グループの使用状況をチェックしながら、内容が適正かどうかを判断している。
サービスの提供に関する業務	常に、利用者に対して声がけを行い、要望を吸い上げ、よりよい施設管理・運営をしていくことができるように心がけている。

担当課モニタリング結果	(所管課記載)
評価	適切な処理がされていた。
指示事項	特になし。

4 管理に係る実施状況(施設管理、事業運営、指定管理者の継続性・安定性)

評価項目	執行状況及び自己評価(指定管理者記載)
施設等の維持・管理に関する業務	職員や清掃担当で館内の見回りをし、不具合がないかをチェックしている。経年劣化をしている箇所もあるが、利用者には不便をかけないようにできるだけ早く対処することを心がけている。
管理執行体制	利用者からの要望にはできる限り対応している。標示物の設置要望には速やかに対応するようにはしているが、新たな物品購入や工事など、難しい事項に関しては社会福祉課と相談しながら対処している。
自主事業に関すること	生き生き高齢者講座として①介護予防医療講演会(2回)②男性料理教室(5回)③元気づくり体操(10回)を実施した。講演では「骨粗鬆症と骨折について」を吉野川医療センター医療部長の米津浩先生に、「心不全について僕が思うこと」については吉野川医療センター副院長の角谷昭佳先生に講演していただき多くの方が聴講した。

担当課モニタリング結果	(所管課記載)
評価	利用者の意見をできる限り取り入れ素早く対応し、利用者が安心して過ごせるように心がけているところが評価できる。また様々な講座を開き、高齢者の生きがいや健康増進に努めているところも評価できる。
指示事項	特になし。

5 収支状況(費用効果)

評価項目	執行状況(指定管理者記載)	
	実績	計画
経費等の収支の状況	【収入の部】	【収入の部】
	管理委託料 230,000	管理委託料 230,000
	施設使用料 8,775	施設使用料 0
	雑収入 170	雑収入 400
	計 238,945円	計 230,400円
	【支出の部】	【支出の部】
消耗品 24,928	消耗品 40,000	
燃料費 43,930	燃料費 45,000	
電話代 41,700	電話代 42,000	
保険料 5,000	保険料 5,000	
点検費(ヘルストロン) 54,540	点検費(ヘルストロン) 54,540	
手数料 1,080	手数料 0	
修繕料 48,600	修繕料 10,000	
予備費 19,167	予備費 33,860	
	計 238,945円	計 230,400円
担当課モニタリング結果	(所管課記載)	
評価	適切に運営されている。	
指示事項	特になし。	

6 その他

評価項目	執行状況及び自己評価(指定管理者記載)	
	来場者からの意見・要望等の対応	「娯楽室で喫煙する人がいて困る」という声を複数寄せられ、禁煙の案内をしたが効果が見られなかった。そこで、喫煙しているところを見つけ、注意して理解を求め、協力をお願いした(2回)。その後の喫煙は無いようである。「鳥の糞が落ちてくる。」→ 外壁の排気口に鳥の巣があるが取り除くのは困難なため下に注意喚起を標示した。
その他特記事項	シルバー大学OBの調理室利用が増加しているため、1,000円程度の使用料(ガス代など)の徴収をしたい。	
担当課モニタリング結果	(所管課記載)	
評価	館内を巡回し利用者への声かけを行うなど、利用者の声を聞きやすい環境づくりを心がけている。備品等の経年劣化に伴い、不具合が生じてきているが、その都度対応し修理・交換を適切に行っている。	
指示事項	特になし。	

7 昨年度の改善指示事項の対応

指示事項(何を、いつまでに)	担当・分担	対応状況(進捗・納期等)
特になし。	・市 ・指定管理者	
	・市 ・指定管理者	